

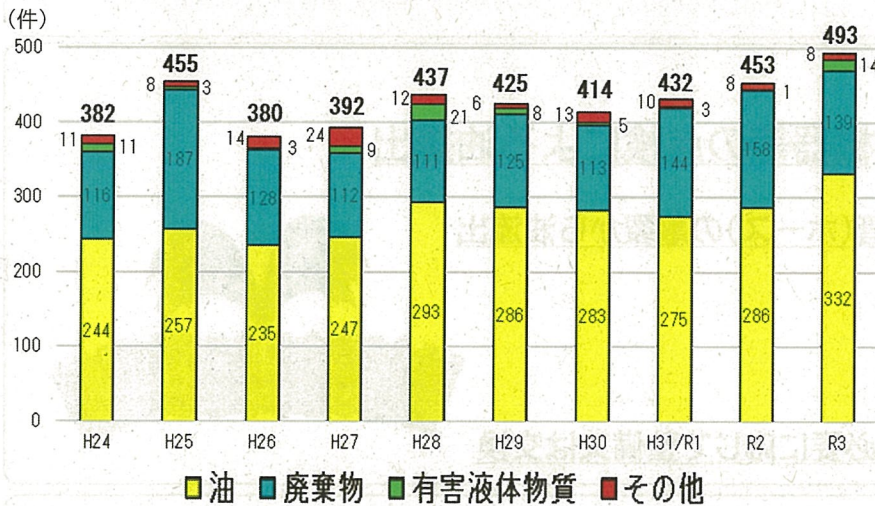
過去10年間で最多の海洋汚染確認件数

- 油排出件数の増加により海洋汚染確認件数が増加
- 油排出は、バルブ操作不適切や整備不適切などが主たる原因

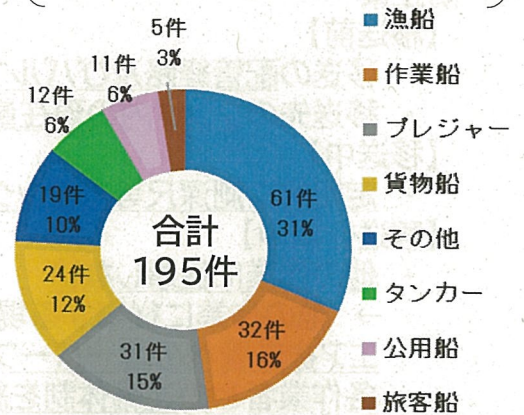


～ 海洋汚染確認件数の推移 ～

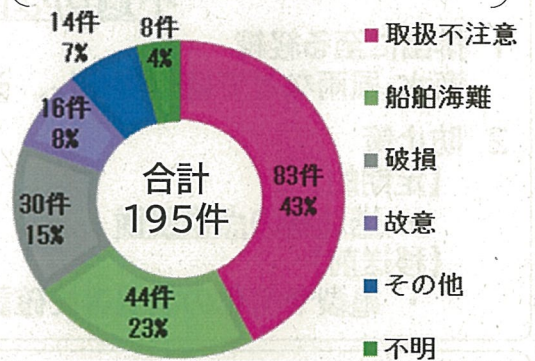
油排出件数の増加により全体件数が増加



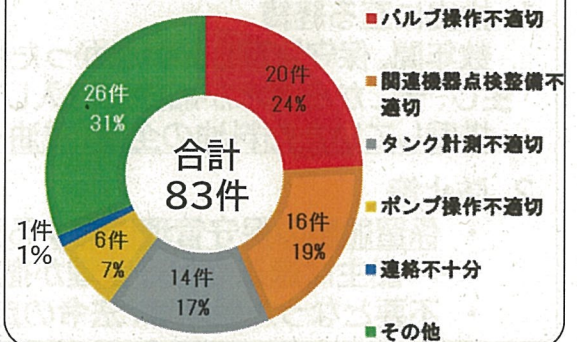
船舶からの油排出による海洋汚染(船種別)



船舶からの油排出による海洋汚染(排出原因別)



取扱不注意による油排出(原因作業別)



○ 船舶からの油排出 195件(油による海洋汚染の59%)

漁船、作業船からの油排出が多く、その原因は不適切なバルブ操作など取扱不注意が主要因となっている

1 船種別

- 第1位 漁船 61件(31%)
- 第2位 作業船 32件(16%)

2 排出原因別

- 第1位 取扱不注意 83件(43%)

※ 取扱不注意の具体例

不適切なバルブ操作、不適切な点検や整備、不適切なポンプ操作など

～ 未来に残そう青い海 ～

次の事例を参考に排出防止へのご協力をお願いします

○ 事例1

誤ったバルブ操作・計測などによる油排出

1 排出に至る経緯

貨物油や燃料油を他のタンクに移送作業中、誤ったバルブ操作・計測、ポンプの操作不適切などの取扱不注意が原因で貨物油等がタンクからあふれて流出

2 防止策

【移送前】

- ・ 移送の配管経路及びバルブ切替え状況
- ・ 移送先のタンク内の現在量

【移送中】

- ・ 定期的に測深尺等でタンク内の量を計測

【移送作業中】

- ・ 他の作業に従事しない
→ 他の作業に従事する場合は、代理を立てるほか、タイマーの使用等で失念防止
- ・ エア抜き管へのオーバーフロータンクの設置、スカッパー(排水口)の確実な閉鎖、各作業者との連絡体制を維持



○ 事例2

不適切な関連機器等の点検による油排出

1 排出に至る経緯

海水・風雨などで経年劣化し、送油管(ホース)の亀裂から油流出

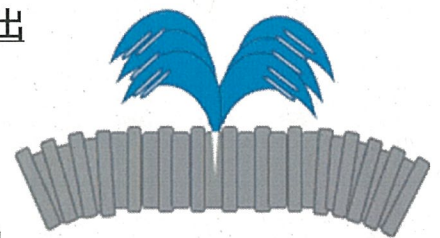
2 防止策

【定期的】

- ・ 送油管の点検整備

【移送前】

- ・ 亀裂や劣化の状況等を確認し、必要に応じて整備又は交換



○ 事例3

船舶保守管理の不適切による油排出

1 排出に至る経緯

数年間、保守管理していなかった作業船の甲板に破孔・亀裂等が生じ、そこから雨水が船内に流入して海底に沈没
搭載していた燃料油の全量(重油・約200リットル)が流出

2 防止策

- ・ 係留船舶の保守管理に対する責任体制を明確化
→ 船主は適正な保守管理が徹底されているかを定期的に確認
- ・ 不要となった船舶は、法令の定めるところにより適切に廃棄

